

特集

アナリストの新たな分析視点—非財務情報の活用法—

座 談 会

アナリストの新たな分析視点 —非財務情報の活用法—

と き 2018年6月18日 (月)
と ころ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》(敬称略、五十音順)

小野塚 恵 美

(ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
株式会社 スチュワードシップ責任推進室 室長)

芝 坂 佳 子

(KPMG ジャパン 統合報告センター・オブ・
エクセレンス (CoE) パートナー)

《司会》

松 島 憲 之 CMA

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
チーフアドバイザー)

(座談会時は三菱UFJ モルガン・スタンレー
証券株式会社 チーフリサーチアドバイザー)

中 野 誠

(一橋大学大学院 経営管理研究科 教授)

目 次

1. はじめに
2. 重要な非財務情報とは何か
3. 企業価値評価モデルや投資意思決定における非財務情報
4. 統合報告書と非財務情報開示の現状と課題
5. 非財務情報の開示が進むことによるメリットとデメリット
6. 非財務情報の入手・分析の工夫とアナリストの役割

1. はじめに

中野 本ジャーナル誌の主な読者であるアナリストやファンドマネジャーは、日々、企業が公表する財務情報や非財務情報、独自に獲得する定性情

報などを総合し、企業価値の分析・評価・投資を行っている。近年の学術論文では、株価変動の説明要因に使われる財務情報の説明力が大幅に低下しているとの報告もある (Lev and Gu [2016] *The End of Accounting and The Path Forward for*